

事務事業調書の見方

H30の事業名称

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H30 事業名	ふるさと鯖江検定事業	総合戦略における 体系	事業コード 2549
------------	------------	----------------	---------------

総合戦略	基本施策 体系	基本目標	基本施策	実施施策
		若くて元気なまちの創造	学力・体力日本一のまち	文化活動の推進

開始年度不明の場合は 0000
終了年度未定の場合は 9999

PLAN(計画)	部署名	文化課	開始年度	2008	終了年度	9999
	目的	ふるさと鯖江に関する歴史・地理・文化・産業・経済などに関する検定を実施し、ふるさとへの理解を高める一助とする。				
	概要	「ふるさとさばえ」を広く知ってもらうため、鯖江の歴史や文化をテーマに4者択一で100問出題する検定を年1回実施する。合格者には、本市の特色を活かした技術で制作した特製の認定証を贈呈する。また、合格者については、市の文化事業の解説等に協力していただけるような方策を検討する。 大人の検定にあわせて、子どもたちからふるさとの歴史に親しめるようキッズ検定を実施する(平成27年度より)。				
	法令 根拠	法令上、市職員が実施すべき 根拠がある場合、根拠を掲載				
	実施 形態	現在	市直営	現在の実施形態について、市 直営や民間委託等から選択		

DO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	検定の実施		回		目標値	1	2	2	2
					実績値	1	2	2	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	受験者数(申込者数)		人		目標値	120	150	150	150
					実績値	72	265	260	
	計算 根拠				達成率 (%)	60	176.7	173.3	
					実数値				

成果指標の目標
値を達成するた
めに行った活動
の結果
※数値化できない場
合は設定困難

タイプ	会計	一般会計	正規職員	0.2
	事業タイプ	単独事業	臨時・嘱託	0.01
	経費区分	物件費	※所要時間	0

事業に従事する職員数を1年間の執務
状況を換算して表示
[計算例]
2人の職員が1年の内2ヶ月間毎日、
1日の半分の時間、当該事務事業の執務
を行っている場合
2人×(2/12ヶ月)×(1/2日)=0.17
人
※人数で示せない場合に限り、所要時間
で表示 (例:45時間)

事業を実施して得られた成果の結果
達成率は目標値に対する実績値の割合
達成ランクはA:95%以上、B:80%以上~
95%未満、C:80%未満
実数値は目標値・実績値が「%」表示の場
合、分母分子(例:45/50)を入力

【単位:千円】					
区分	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)
予算額	435	450	582	248	209
決算額	222	215	132	144	

補助金等名称

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象)

事業に対する市民ニーズが十分にあるかどうかの判断と根拠

C E M I C (自評)	必要性	【ニーズ】住民等のニーズは十分にありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠 ご当地検定ブームもあり、ふるさと鯖江について学び、その成果を試してみたいとの市民ニーズは十分にある。	
		【行政関与】行政が実施すべき事業ですか。 <input type="checkbox"/> はい	根拠 史実に沿った正確な問題を作成し、検定を通して、ふるさと鯖江の歴史・文化について正しい知識を身につけてもらう。また、その知識の活用を図るために必要である。	
	効率・効果	【競合】国、県、または民間のサービスと競合している事業はないですか。 <input type="checkbox"/> ある	主体 県	【廃止可能性】ある場合、当該事業の廃止は可能ですか。 <input type="checkbox"/> はい
			事業名 考福学検定	
			根拠 鯖江市だけに關わる問題を作成し、検定を実施する必要がある。	
		【類似重複】本市の事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業はないですか。 <input type="checkbox"/> ない	所管課 市民課	【統廃合可能性】ある場合、当該事業の統廃合は可能ですか。 <input type="checkbox"/> はい
	【コスト削減】今以上に、コストを削減する余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ある	事業名 考福学検定		
有効性	【財源確保】今以上に、財源を確保する方法はありますか。 <input type="checkbox"/> 受益者負担	根拠 認定書の単価を下げる。		
	【成果向上】今以上に、成果を向上させる余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠 検定料を徴収する。		

行政が関与する必要があるかどうかの判断と根拠

国や県、民間等において、同様の事業が行われていないか

本市の事務事業の中に目的・概要が類似したものが無いかどうか

事業に関する経費について、成果を低下させずに削減する余地があるかどうかの判断と根拠

事業の財源について、現在以上に特定財源を確保する方法があるかどうかの判断と根拠

事業の目的達成に向けて、現在の水準以上に向上させる余地があるかどうかの判断と根拠

A C T I O N	【平成30年度 取組み】	維持	【平成31年度 方向性】	事務改善
	平成30年度取組み 昨年同様の形態で実施。「ふるさとさばえ」について広く知ってもらうため、鯖江の歴史や文化をテーマに検定を行う。キッズ検定については学校の協力を得て実施し、一般は従来どおりの形で開催する。		平成31年度計画 「ふるさと鯖江検定」については平成30年度で終了するが、これまでは歴史・文化が出題の中心といたため、次回からは産業・観光等を含めた内容を再考する。「キッズ検定」については、平成31年度まで継続することとする。	

平成31年度の方方向性(内部評価)「事務改善」「内容拡大」「内容縮小」「維持」「終了」「廃止・休止」「統合」から選択

【H31提案型市民主役オープン事業実施】	可能					
年度	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
取組選択	可能	可能	可能	可能	可能	可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

提案型市民主役事業として実施選択と取組状況